

黒色腫

1	オプジーボ/ヤーボイ
2	ヤーボイ

## 化学療法計画書

治療法名		オブジーボ/ヤーボイ			
コース数		コース目			
腫瘍種		悪性黒色腫			
患者名				♂	年齢
患者ID		生年月日			
部署		主治医		科	Dr
開始予定日					
治療内容		Day	1 . . . . . 8 . . . . . 15 . . . . . 22		
		予定日	1/0		
ヤーボイ		3 mg/kg	↓		↓
オブジーボ		80 mg/body	↓		↓
治療開始日		治療間隔		3週毎	予定コース数
					4回で終了
身長	150	cm	体重	50	kg
eGFR	27	mL/min	eGFR/BSA	24	mL/min
		BSA		1.40 m <sup>2</sup>	

<b>投与開始基準</b> ・自己免疫疾患の合併または既往歴のある患者は慎重に投与
<b>延期基準</b> ・G2の有害事象
肺臓炎：ステロイド投与 下痢・大腸炎：ステロイド投与 肝障害：ステロイド投与 甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの治療 甲状腺機能亢進症：非選択的β遮断薬など対処療法 神経障害：ステロイド投与 腎障害：ステロイド投与 副腎機能障害：ステロイド投与 下垂体機能障害：ステロイド投与 I型糖尿病：インスリン補充療法考慮 膵炎：ステロイド投与 横紋筋融解症・筋炎：ステロイド考慮 重症筋無力症：抗コリンエステラーゼ検討 ステロイド投与 脳炎・髄膜炎：ステロイド考慮 心筋炎：ステロイド考慮

皮膚障害はG3で休薬  
 原則専門医に相談  
 G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減  
 日和見感染に注意

day1	
インラインフィルターを通す	
1) 生理食塩液 50mL	血管確保
↓	
2) 生理食塩液 50mL <b>オブジーボ 80mg</b> 30分	
↓	
3) 生理食塩液 50mL 30分	(観察)
↓	
4) 生理食塩液 100mL <b>ヤーボイ 150mg</b> 30分	(ヤーボイ 5mg/mL)
↓	
ヤーボイの液量分+10mLを生食から	
抜き、ヤーボイ分を生食に追加	
総液量は90mL	
5) 生理食塩液 50mL	フラッシュ

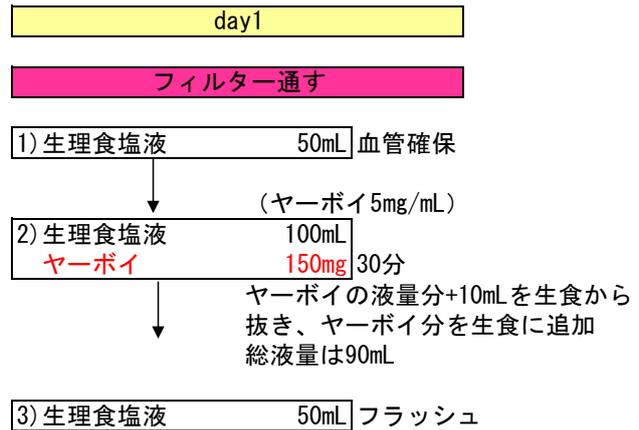
インフュージョンリアクションに注意

**Infusion reaction**  
 (軽度～中等度)  
 悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談  
 (重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など  
 ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

## 化学療法計画書

治療法名		ヤーボイ			
コース数		コース目			
腫瘍種		悪性黒色腫			
患者名		性別	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	
開始予定日					
治療内容	Day	1	8	15	22
	予定日	1/0			
ヤーボイ	3 mg/kg	↓		↓	
治療開始日		治療間隔	3週毎	予定コース数	4回で終了
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.40 m <sup>2</sup>
eGFR	27 mL/min	eGFR/BSA	24 mL/min		

<b>投与開始基準</b> ・自己免疫疾患の合併または既往歴のある患者は慎重に投与
<b>延期基準</b> ・ <b>G2の有害事象</b>
肺臓炎：ステロイド投与 下痢・大腸炎：ステロイド投与 肝障害：ステロイド投与 甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの治療 甲状腺機能亢進症：非選択的β遮断薬など対処療法 神経障害：ステロイド投与 腎障害：ステロイド投与 副腎機能障害：ステロイド投与 下垂体機能障害：ステロイド投与 I型糖尿病：インスリン補充療法考慮 肺炎：ステロイド投与 横紋筋融解症・筋炎：ステロイド考慮 重症筋無力症：抗コリンエステラーゼ検討 ステロイド投与 脳炎・髄膜炎：ステロイド考慮 心筋炎：ステロイド考慮
皮膚障害はG3で休薬 原則専門医に相談 G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減 日和見感染に注意



インフュージョンリアクションに注意

**Infusion reaction**  
 (軽度～中等度)  
 悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談  
 (重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など  
 ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告